琉球・沖縄 年中行事 なんでも？！Q&A

お米の中に入れるお金の金額は？

●Answer
沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職
帰依 龍照（きえ りゅうしょう）

Q ウグワンブトゥチなど、お米の中に入れるお金は、いくらぐらいがよいでしょうか？ 教えてくれる友達によって金額が違うので、迷ってしまいます。（宮古島市・Tさん 60代女性）

A 沖縄では、お米の中にお金を入れる祭具のことを「ハナグミ（花米）」「ミハナ（御花）」と呼びます。また「ミハナ」には、お米を洗わず使用する「カラミハナ（空御花）」と、お米を洗って使用する「アライミハナ（洗い御花）」があります。さて、なぜお米の中にお金を入れるようになったのでしょうか？

その理由を調べてみると

1.サンゴーミハナ（3合御花）・クンゴーミハナ（9合御花）の合数など、お米の不足分をお金で補うため。

2.お米もお金も、とても大切なものなので一緒に入れるようになった。

3.特別な行事であることを強調するために、お米の中にお金を入れるようになった。

4.昔は、お米の中にお酒（盃）を入れていたものが、今では、お金でお酒を買ってくださいに変化し、お米の中にお金を入れるようになった。

5.お米のありがたさを示すため、お金の金額で意味づけをするようになった。

などが主な理由のようですが、いずれにしても地域や家庭に富んだ沖縄のしきたりといえるようです。このように、諸説にわたるということは、それだけみなさんが大切にしているしきたりだということもうかがいしれます。

ハナグミ・ミハナの作法

地域や家庭によってお金の金額や硬貨の枚数は異なりますが、次のケースを選択されることが多いようです。

【15円を入れる】

15円には、充分（10円）、よいご縁（5円）がありますようにとの意味があります。地域や家庭によっては、円満なウグワンなどの意味から満月の十五夜にあやかったともされますが、お餅の重箱の15個やヒラウコー、タヒラハンの15本も同じような意味があるようです。

【30円を入れる】

30円は、充分とよいご縁が、わが家とジーチヌカンガナシー（土地之神加那志）の双方に恵まれるようにとの思いで、15円×2（双方）＝30円になったといわれます。また、天・地・水（仁）の3つに充分なウグワンなどが行えますようのとの意味ともいわれています。

【70円を入れる】

70円は、お葬式の後に、ハチナンカ（初七日）からシンジュークニチ（四十九日）まで、ナンカ（七日、正式には中陰（ちゅういん））と呼ばれる7日ごとに7回の供養を行います。このことから7がグソー（後生）というウヤファーフジ（ご先祖）の世界を表現する数字でもあることから、充分にグソーを供養できるようにとの意味で、10円×7（グソー）＝70円になったといわれています。地域・家庭によっては、ダーグ（団子）やハーガー（干菓子）など、7個・7枚を小皿などに盛る、供物（くもつ）というお供え物が、ウスーコー（法事）の7回（百カ日・一周忌・三回忌・七回忌・十三回忌・二十五回忌・三十三回忌）の回数を表現しているとの意味で、10円×7（ウスーコー）＝70円になったともいわれます。

【硬貨3枚のハナグミ・ミハナ】

金額を問わず共通している作法としては、硬貨3枚で組むという考え方があります（7枚・12枚などの地域や家庭もあります）。3は、前述した天・地・水（仁）の森羅万象を表現する聖数（せいすう・厳粛な数字）に起因しているといいます。つまり、

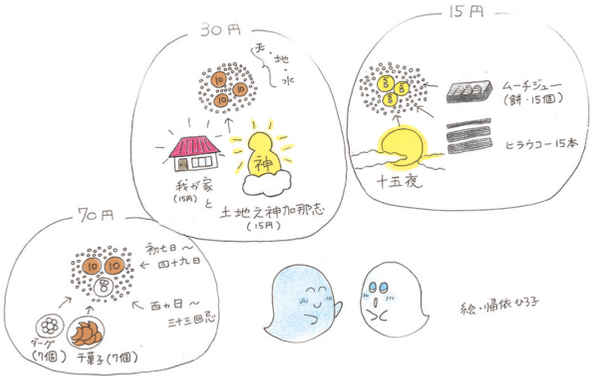
◎15円は、5円硬貨×3枚
◎30円は、10円硬貨×3枚
◎70円は、50円硬貨＋10円硬貨×2枚

になります。

余談ですが、とある家庭のヤシチヌウグワン（屋敷之御願）では、お米の中にたくさんのお金が入っていました。数えてみますと448円で、内訳は100円硬貨が4枚、10円硬貨が4枚、5円硬貨が1枚、1円硬貨が3枚になりました。

隣にいたお孫さんが祖母に、「おばあ、この12枚のお金は、干支の十二支とかの12枚の意味ね～？」と尋ねましたら「あらん。さっきウチカビを買ってきた、おつりだわけよ～。深い意味はないよ～」と即答されていました。12枚なら、干支の十二支のような感じもしますが、まさかおつりだったとは、といった笑い話です（笑）。

今年のウグワンブトゥチは、2月9日（金）で旧暦の12月24日にあたります。お米の中に入れるお金の金額や枚数は、語呂合わせといえば、それまでかもしれませんが、このような数量的畏敬に対する心の豊かさが、沖縄の感性の素晴らしい分野なのかもしれません。もちろん、その金額や枚数以外も、意味のある沖縄のしきたりですから大切に継承していただければと思います。



帰依 龍照　1968年岡山県出身（50歳）／学歴：岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野：哲学（宗教哲学）／沖縄県内にて年間多数の住宅・墓の起工式（地鎮祭）を担当しつつ、団体・企業・学校にて『琉球・沖縄の年中行事・葬式・法事』に関する、進学・就職・いのちの講演活動を行う／FM沖縄『Sh@re TIME（しぇあたいむ）』・『トラディッショナルokinawa』毎週月曜出演中
ホームページ：http://www.kozazankyuyoji.com/　　ブログ：http://ameblo.jp/kozazankyuyoji

【質問をお寄せください】 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q＆A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。